

編集・発行

京都府仏教連合会

理事長：貴田善澄

事務総局

〒605-8686

京都市東山区林下町400

総本山知恩院内

Tel 075-531-2111 (代)

Fax 075-531-0099

第38号

京仏連だより



令和7年度京都府仏教連合会花まつり（令和7年4月5日開催）

ご挨拶

京都府仏教連合会

理事長 貴田 善澄



皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は当会の活動にご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続き、浄土宗総本山知恩院が、京都府仏教連合会の理事長並びに事務総局を務めさせていただけます。

さて、今年は第二次世界大戦終戦八十年の節目の年にあたり、全国各地で戦没者追悼・平和誓願法要が厳修されました。私たちは様々な形で戦争に協力してきた歴史があります。

総本山知恩院御門跡 伊藤唯眞殿下は、「大無量寿経」の「兵戈無用」という言葉を引用され、平和には武器や武力はいりません。自らの愚かさを知り、戦争に走らずに立

ち止まって考えなくてはならないとおっしゃっております。

争いあったことに深く懺悔し、同じ過ちを二度と繰り返さないよう強い意志のもと、平和を念じながら歩んでいかなければなりません。

「いのち」の尊厳を説き、人々の和合を訴える私たち仏教徒が、当会の目的でもある『仏陀釈尊の教えを基調とし、(中略)時代に即応した教化伝道を中心とする事業の推進によって、地域社会の向上と平和の顕現に寄与する』を心に留め、果たすべき責任を希求してまいりたいと思います。

皆様のお導きとお力添えを賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

合 掌

京仏連活動報告

令和六年度

釈尊成道会・

住職永年勤続表彰

令和六年十二月九日(月)、知恩院和順会館和順ホールにおいて、知恩院伊藤唯真住持・導師のもと釈尊成道会を厳修した。

引き続き住職永年勤続表彰式を執り行い、古川博規京都府副知事より「長年にわたり地域社会の発展に貢献されたご苦労とご功績に深く敬意を表します。物質的な豊かさを得た一方で、地域社会の衰退やデジタル化に伴う犯罪の発生が増えている現代において、人と地域が繋がりを深める場所として寺院の役割は大きい」と西脇隆俊知事の祝辞が代読された。

貴田理事長は、「受賞された皆様方におかれましては、今日までの永きに亘り、仏法弘通と寺門の護持興隆にご尽力いただきまして。今を生きる私たちは、釈尊の説かれた法こそが、真の心の依り処であることを世に広めていかなければなりません。当会でも一丸

となり現代社会のニーズに合わせた活動を積極的に行っていきたい」と挨拶を述べた。

令和六年度の受賞者は二十八名(五頁参照)で三名が出席。受賞者には表彰状と記念品が贈られた。また、式典後には和順会館内レストラン「花水庵」において祝宴を催した。



釈尊成道会 法要の様子

令和六年度

仏教講演会

令和六年十一月二十六日(火)、八坂神社の野村明義宮司を講師に迎え、「神道に観る未来日本の祖霊祭祀の行方」と題し、仏教

講演会を開催した。

野村宮司は石川県七尾市出身。皇學館大学卒業後、乃木神社(東京都)に奉職し、儒学者・山鹿素行の思想や陰陽道を学んだ。平成五年より八坂神社に転任し、陰陽道の研究に基づく独自の暦『祇園暦』を作成。令和三年十月に八坂神社宮司に就任した。



八坂神社 野村明義宮司

当日は、貴田理事長の挨拶、講師紹介の後、二百名を超える参加者の盛大な拍手で迎えられる開演となった。「極楽さまです」の挨拶で始まり、元々神仏習合の場であった八坂神社の由来、教祖や經典がなく自然崇拜である神道と仏教との違い、お彼岸の成り立ち、霊魂観、陰陽道について等を分かりやすく語った。核家族化、無縁仏が増え

ている現代、墓じまいをして過去を忘れてしまおうのではなく、過去の記憶をとてもおくことが大切であると講演を締めくくった。

アンケートでは、「非常に興味深く、有意義な時間となった」「今後を生きる指針となる内容で素晴らしいかった」「神道も仏教の考えも通じるところがあると感じた」との声が聞かれ、大変好評であった。



会場の様子

令和七年度 花まつり

令和七年四月五日（土）、浄土宗西山深草派総本山誓願寺前のろつくんプラザにおいて立誠仏教団及び京都府仏教連合会による花まつり法要を厳修した。

誓願寺前の新京極通りでは、商店街を行き交う人々に加盟教団の職員が花まつりの説明を行い、甘茶のティーバッグや花の種、バルーンアート、絵葉書を配布。加盟各宗派からのマスケットキャラクターも参加し、積極的に花まつりの広報活動につとめた。また、集まった人々は誕生仏に甘茶を注ぐ「灌仏」を行い、お釈迦様のご誕生を祝った。

午後二時より、浄土宗西山深草派倉内賢道誓願寺管長導師のもと立誠仏教団と音楽法要を厳修し、錦綾幼稚園の園児が献灯・献華・献香を行った。

法要後には、龍谷大学吹奏楽部の演奏が響く中、文教中・高等学校と光華高等学校のバトン部らも参列し、誓願寺前から新京極商店街や寺町商店街を巡る「花まつりパレード」を実施。横断幕、アナウンス等で花まつり周

知活動を行った。

当日は晴天に恵まれ、桜も綺麗に咲き誇り、会場周辺は多くの観光客や家族連れで賑わった。



花まつりパレード



商店街で灌仏をする子ども

令和六(二〇二四)年度

京都府仏教連合会
住職永年勤続表彰
受賞者一覧

(敬称略)

五十年知事表彰 四名

浄土真宗本願寺派

三好 佳子 (聞光寺)

浄土宗

浦田 正宗 (見性院)

臨済宗妙心寺派

遠藤 秀峰 (願成寺)

日蓮宗

川口 智康 (瑞光寺)

四十年理事長表彰 七名

真宗大谷派

雪山 康利 (善通寺)

徳田 良明 (光久寺)

浄土宗

鵜飼 光昌 (清涼寺)

臨済宗妙心寺派

安楽島由臣 (桂春院)

倉内 亨道 (金臺寺)

高橋 達明 (大龍院)

西川 玄房 (東林院)

三十年理事長表彰 十七名

浄土真宗本願寺派

片岡 淳典 (光瀬寺)

真宗大谷派

山田 友能 (仙宗寺)

本多 明廣 (長榮寺)

藤河 誠 (永泉寺)

浄土宗

勤息 義照 (大恩寺)

坪井 道彦 (長徳寺)

戸川 明弘 (栄撰院)

石原 幸雄 (西方寺)

本多 孝昭 (信行寺)

城平 賢宏 (天然寺)

浄土宗西山禅林寺派

土市 和道 (法性寺)

増田 宗雄 (當麻寺)

西山浄土宗

脇田 順也 (昌運寺)

辻本 教佳 (明吉寺)

真言宗智山派

川崎 純性 (六波羅蜜寺)

真宗佛光寺派

物部 修道 (昌藏院)

曹洞宗

鷹峰 啓明 (源光庵)

以上



理事・評議員会報告

【令和六(二〇二四)年度第二回理事・評議員会】

日時：令和七(二〇二五)年三月二十七日(木)

十四時より

会場：知恩院 寺務棟三階会議室

【報告事項】

- ① 役員の異動報告
- ② 令和六(二〇二四)年度事業現況報告及び予算執行状況について

【審議事項】

- ① 令和七(二〇二五)年度事業計画(案)について
- ② 令和七(二〇二五)年度歳入・歳出予算(案)について
- ③ 各本山の暁天講座の広報について

【審議結果】

全て承認

【令和七(二〇二五)年度第一回理事・評議員会】

日時：令和七(二〇二五)年七月九日(水)

十三時半より

会場：知恩院 寺務棟三階会議室

【報告事項】

- ① 役員の異動報告
- ② 令和七(二〇二五)年度暁天講座広報について

【審議事項(理事・評議員会共通)】

- ① 令和六(二〇二四)年度事業報告及び決算について
- ② 令和七(二〇二五)年度補正予算(案)について

【審議結果(理事・評議員会共通)】

全て承認

(役員名簿) ※令和七(二〇二五)年十月一日時点

知恩院	貴田 善澄◎
西本願寺	藤 實 無極○
東本願寺	木 越 渉○
妙心寺	野 口 善敬○
智積院	三 神 栄法○
醍醐寺	大 原 弘敬○
日蓮宗京都府第一部宗務所	小 田 和幸○
曹洞宗京都府宗務所	萩 野 昌彦○
光明寺	柴 田 康仁
誓願寺	畔 柳 正倫
永観堂・禅林寺	富 永 真光○
興正寺	秦 直樹●
佛光寺	八 木 浄顯
本能寺	佐 藤 泰慎○
本禅寺	赤 塚 日辰
妙蓮寺	末 本 樹哉
金戒光明寺	橋 本 周現
百萬遍知恩寺	山 本 正廣
清浄華院	長 谷 川 善政
大教寺	西 山 恵龍
高野山京都別院	柏 田 良辯
専修寺京都別院	安 田 真源
中京仏教会	三 緑 勝弘○
花園仏教会	久 下 浩文○
多賀仏教会	石 津 幸次○
井手仏教会	明 山 年洋
木津町仏教会	井 上 正顕●
知恩院	新 谷 仁海○

◎理事長 ○理事 ●監事